

国際中等教育研究

第10号

<MYP 各教科の取り組み>

- 平成28(2016)年度上半期 国語科における授業実践記録および評価に関する取り組み
- 2016年度 社会科・地理歴史公民科における取り組み
- 数学を使い、創る活動の水準を高める手立て —公開研究会の報告を兼ねて—
- 「科学による影響の振り返り」に焦点をあてたMYP理科の授業実践
- ICTを活用した音楽科の取り組み —映像と音楽との関連を考える—
- 美術科 2016年度の取り組み MYPからのつながりを意識したDP Visual arts
- 保健体育科の目指す資質・能力 ～生徒と教師でつくる体育授業のビジョン～
- 技術・家庭科(技術分野)におけるMYP「探究の問い」と評価・活用能力の関連性の検証
—第五回公開研究会報告—
- 家庭科の授業における実験の活用について 教育実習生の住居領域の授業実践から
- 情報科の取り組み
- MYPの取り組み その8
資質・能力育成—Communicatorsを育てる指導(資料編)
- 学際的単元の実践 —水俣病を社会・理科の視点で捉える—

<各委員会の取り組み>

- 平成28年度の国際教養の取り組み
- 平成28年度の特別研究推進委員会の取り組み
- 国際バカロレア(IB)ディプロマプログラム(DP)導入一年目の実践内容と課題
- SGH事業の取り組み(第2年次)—2016年度経過報告
- スーパーサイエンスハイスクール事業の取り組み

<個人研究>

- 「故郷」をめぐる三つの提案
- 香港IB校の視察報告 —美術の授業観察を中心に—
- 高校生企業『おだづもっこ』の軌跡 —「つながり」に支えられたアクティブラーニング—
- 【研究ノート】水俣病公式発見60年 水俣病「1977年基準」がもたらした罪を問い直す

研究の動向

2016

東京学芸大学附属国際中等教育学校研究紀要

Bulletin of Tokyo Gakugei University International Secondary School

目 次

はじめに	校長 佐藤 正光	
< MYP各教科の取り組み >		
平成28(2016)年度上半期 国語科における授業実践記録 および評価に関する取り組み	国語科 愛甲 修子・浅井 悦代・石川 直美 宇佐見尚子・杉本 紀子・中野久美子 西村 論・廣瀬 充・若宮 知佐	3
2016年度 社会科・地理歴史公民科における取り組み	社会科 来栖真梨枝・中村 文宣・長谷川智大・藤木 正史 藤澤 誉文・古家 正暢・前田 陽子・山本 勝治	15
数学を使い、創る活動の水準を高める手立て — 公開研究会の報告を兼ねて —	数学科 新井 健使・内野 浩子・小林 廉・祖慶 良謙 高橋 広明・成田慎之介・二宮 脩・本田 千春	21
「科学による影響の振り返り」に焦点をあてたMYP理科の授業実践	理科 鮫島 朋美・仲沢 隆	53
ICTを活用した音楽科の取り組み — 映像と音楽との関連を考える —	音楽科 水本 肇	59
美術科 2016年度の取り組み MYPからのつながりを意識したDP Visual arts	美術科 嶽 里永子	71
保健体育科の目指す資質・能力 ～生徒と教師でつくる体育授業のビジョン～	保健体育科 橋本みゆき・板村 邦弘・田島 宏一・深澤祐美子	77
技術・家庭科(技術分野)における MYP「探究の問い」と評価・活用能力の関連性の検証 — 第五回公開研究会報告 —	技術科 馬田 大輔	97
家庭科の授業における実験の活用について 教育実習生の住居領域の授業実践から	家庭科 菊地 英明	115
情報科の取り組み	情報科 河野 真也	119
MYPの取り組み その8 資質・能力育成—Communicatorsを育てる指導(資料編)	外国語科 秋森久美子・雨宮 真一・枝廣 真弓・小松 万姫 澤田光穂子・手塚 史子・徳 初美・藤野 智子 前田 健士・吉田遼太郎	123
学際的単元の実践 — 水俣病を社会・理科の視点で捉える —	社会科 古家 正暢 理科 重森 健介・鮫島 朋美	133

<各委員会の取り組み>

平成28年度の国際教養の取り組み

2016年度国際教養委員会 西村 諭・愛甲 修子・古家 正暢・佐藤 恵美 145

平成28年度の特別研究推進委員会の取り組み

特別研究推進委員会 佐藤 正光・赤羽 寿夫・星野あゆみ
藤野 智子・鮫島 朋美・後藤 貴裕
杉本 紀子・来栖真梨枝・西村 諭 151

国際バカロレア (IB) ディプロマプログラム (DP) 導入一年目の実践内容と課題

2016年度IB委員会 来栖真梨枝・内野 浩子・小松 万姫・田島 宏一
馬田 大輔・山本 勝治
2016年度DP担当者 杉本 紀子・Tyler Christensen・小松 万姫
山本 勝治・来栖真梨枝・鮫島 朋美・内野 浩子
嶽 里永子・Steven Platt・馬田 大輔 159

SGH事業の取り組み (第2年次) —2016年度経過報告

SGH委員会 杉本 紀子・堀内 順治・宇佐見尚子
長友 結希・中村 文宣・若宮 知佐 175

スーパーサイエンスハイスクール事業の取り組み

SSH委員会 後藤 貴裕・高橋 広明・鮫島 朋美
成田慎之介・前田 陽子・菊地 英明 189

<個人研究>

「故郷」をめぐる三つの提案 愛甲 修子 203

香港IB校の視察報告

—美術の授業観察を中心に— 嶽 里永子 227

高校生企業『おだづもっこ』の軌跡

—「つながり」に支えられたアクティブラーニング— 社会科 古家 正暢 231

【研究ノート】水俣病公式発見60年

水俣病「1977年基準」がもたらした罪を問い直す 社会科 古家 正暢 245

研究の動向

研 究 部 257